

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		自治公民館活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	甲斐朝子
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の育成			所属班	生涯学習班	(内線)	1502
法令根拠		合志市補助金等交付規則 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱 合志市公民館長設置規則							
予算科目	会計	1	10	5	3	10817	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6*19	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 年度初めに公民館長会議を一回開催し、説明を行う。申請のあった自治公民館へ均等割20,000円、戸数割50円の活動補助金を交付する。モデル公民館申請の自治公民館については、2か年を通して各200,000円を別途交付する。 【業務の流れ】 自治公民館からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行して各公民館長等からの請求書を受け、補助金を交付する。 【主な予算費目】 報償費(公民館長会議出席者分)、負担金補助及び交付金									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 旧合志地区の自治公民館(29地区)に846千円の地区公民館活動等助成金を交付。平島地区にはモデル公民館として200千円を交付。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 地区 → ア イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自治公民館活動を活発に行ってもらおう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 地区 → ア 旧合志地区の自治公民館と公民館を有さない活動地区 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 自治公民館活動への参加者が増える。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 自治公民館活動を行う地区の割合 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 人 → ア 活動している生涯学習スポーツ団体数 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	1,026	2,144	1,436	1,154	1,716	1,716		1,716
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		1
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80		80
(B)人件費計		千円	318	318	318	318	318	318	318		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,344	2,462	1,754	1,472	2,034	2,034	2,034		
活動指標	地区		27	27	35	29	35	35	35		
対象指標	地区		35	35	35	35	35	35	35		
成果指標	%		77	77	100	83	100	100	100		
上位成果指標	人		376	297	380	338	380	390			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地域公民館の活動助成事業が開始された年代は明らかではないが、草の根からの生涯学習活動の振興を図るため開始されたものと思われる。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前、旧両町の地域生涯学習活動への支援の方法は、地域公民館を単位とした旧合志町と、地域公民館の連合体とも言えるコミュニティを単位とした旧西合志町とは異なっていた。
合併して3年が経過し、体制の統一を目指して旧西合志地区の須屋地域には自治公民館活動助成金として補助金交付を行っているが他の西合志地区はいまだコミュニティ単位での補助を行っている。長い歴史を持つ旧西合志地域のコミュニティ活動を継続するのか、今後自治公民館活動助成金として一本化するのか、市の施策と照らし合わせて検討する必要がある。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
旧西合志町のコミュニティ活動助成金は、人口の多寡や事業の濃淡にかかわらず定額(1コミュニティ当たり137,000円)であったため、旧合志町の「均等割」+「人口割」での算定がより公平であるとの指摘を地域住民から受けている。

事務事業名	自治公民館活動支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事業によって地域の公民館活動、生涯学習活動の振興につながるため、政策と結びつくから。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 合併前、旧両町の地域生涯学習活動への支援は手法が異なっていたが、積極的に地域の振興を図るには行政の支援は必要であり、事業は妥当であるから。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業の対象は地域公民館活動であり、市が意図する地域の振興にかなうので適切であるから。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地域の公民館活動は、行政の支援の多寡よりも、その地域住民の参加意識の高まりがより重要である。魅力ある地域づくりこそが住民の多数の参加を促し、成果の向上のためには欠かせないから。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ それぞれの地域公民館活動を、すべて地域独自の費用負担で行わなくてはならないので、地域の負担能力の差によって活動内容等に格差が広がって、地域での生涯学習活動にも格差を生じるから。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 地域公民館活動＝地域ととらえ、各課バラバラに交付している各種の助成金を整理統合すべきであると考えから。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 地元と公費の負担のあり方を見直し、地元負担の割合を増やすことで事業費の削減は可能であるから。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成金の交付や、事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しいから。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地元と公費の負担のあり方を見直し、地元負担の割合を増やすようにしていくべきであるから。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性については、地域公民館活動＝地域ととらえ、各課バラバラに交付している各種の助成金を整理統合すべきであると考え。 ③ 効率性については、地元と公費の負担のあり方を見直し、地元負担の割合を増やすことで事業費の削減は可能である。 ④ 公平性については、地元と公費の負担のあり方を見直し、地元負担の割合を増やすようにしていくべきである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地域公民館活動＝区の活動とみなし、同一地域に各課がバラバラに交付している助成金を整理統合する。また、助成率の見直し、助成上限(均等割額)の見直しなどで、公費の負担割合を減らし、助成総額を圧縮する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

地域公民館活動の助成金レベルダウン、地元負担の増加は避けられず、反発が予想される。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)